

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月3日

上場会社名 鈴木金属工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5657 URL <http://www.suzuki-metal.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉浦 登

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長

(氏名) 堀川 芳雄

TEL 047-476-3111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	23,816	△22.3	△321	—	△50	—	△170	—
21年3月期第3四半期	30,660	—	922	—	966	—	188	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△3.68	—
21年3月期第3四半期	6.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	45,631	11,649	23.1	197.59
21年3月期	33,968	8,102	20.8	252.97

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 10,554百万円 21年3月期 7,062百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△4.5	250	273.1	200	110.2	0	—	0.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 2社 (社名 Suzuki Garphyttan (Hong kong) Co., Ltd.他1社) 除外 1社 (社名)

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	54,166,000株	21年3月期	28,666,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	751,065株	21年3月期	748,597株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	46,460,929株	21年3月期第3四半期	28,291,646株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、第2四半期以降、堅調な新興国経済を背景に生産や輸出に改善が見られ緩やかに回復しつつあるものの、雇用情勢が悪化し、民間設備投資や個人消費は引き続き低水準で推移しているなど、依然厳しい状況が続きました。

特殊鋼線業界におきましては、こうした経済状況を反映して、主要需要部門である自動車関連向けを中心とするばね材は、各自動車メーカーの生産が、環境対応車の政府支援策によりピーク時には及ばないものの比較的堅調に推移するなど、ゆるやかに回復して参りました。建材関連は、更なる公共事業費の削減が影響し、橋梁新設工事が低迷するとともに、建築需要の落ち込みの影響が継続し、低調に推移いたしました。ステンレス鋼線につきましても、自動車関連において需要の回復やばねメーカーの在庫積み増しが見られたものの、住宅関連産業においては需要低迷が継続し、荷動きは低迷低調に推移しております。この結果、全体として先行き不透明感は拭えず、引き続き厳しい事業環境となりました。

こうした状況のもとで、当社グループの売上高は、売上数量減（前年同期比17.3%減）による影響を大きく受け、前年同期比22.3%減（68億4千4百万円減）の238億1千6百万円となりました。

収益面では、厳しい販売環境のなか、受注確保に向け様々な取り組みを行い、より効率的な生産の実現や在庫圧縮を図るとともに、労務費をはじめとする固定費、諸経費の削減などの収益改善策を講じたことに加え、為替評価益があったものの、大幅な受注・販売減の影響を吸収しきれず、経常利益は、前年同期比10億1千7百万円減の5千万円の損失となりました。また、四半期純利益につきましても、3億5千9百万円減の1億7千万円の損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ116億6千2百万円増加し、456億3千1百万円となりました。これは主に第1四半期連結会計期間より連結対象となったSuzuki Garphyttan AB及びその子会社の資産を取り込んだ事による95億2千6百万円の増加と、Suzuki Garphyttan AB 及びその子会社取込による「のれん」の発生によるものです。

負債総額は81億1千5百万円増加し、339億8千1百万円となりました。これは、主にSuzuki Garphyttan AB及びその子会社の負債を取り込んだ事による59億4千8百万円とSuzuki Garphyttan AB及びその子会社取得に関わる借入れ等によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ35億4千7百万円増加し、116億4千9百万円となりました。これは主に新日本製鐵株式会社を相手先とした第三者割当増資の実行による、「資本金」の増加17億3千4百万円と「資本剰余金」の増加17億8百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年度第4四半期のわが国経済は、引き続き緩やかに回復傾向に向かうことが期待されますが、欧米経済が力強さを欠き、国内でもデフレ状況が継続していることから、景気の下ぶれリスクは依然拭えないなど、予断を許さないところです。

こうした状況の中で、当社グループは、全事業分野にわたって、品質・サービスの向上によるシェアの維持・拡大および徹底したコスト削減の実現に最大限の努力を傾注し、平成21年度、通期黒字の実現に向け、全社一丸となって取り組んでおります。

通期の連結業績予想につきましては、現時点において、平成21年4月28日公表の業績予想を修正しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は平成21年6月1日付で、自動車部品等の製造・販売の大手Haldex AB（本社スウェーデン）の子会社で世界有数の弁ばね用ワイヤメーカーであるHaldex Garphyttan AB（本社スウェーデン、同日付でSuzuki Garphyttan ABに社名変更）の株式取得を行ったことにより、同社及びその子会社4社は当社の連結子会社となりました。同時に、これら連結子会社5社のうち、Suzuki Garphyttan (Hong Kong) Co., Ltd. 及びSuzuki Garphyttan Wire (Suzhou) Co., Ltd. は、当社の特定子会社となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産及び負債については、前連結会計年度末に計上した繰延税金資産、負債の回収見込額を前連結会計年度末以降の経営環境や一時差異等の発生状況を勘案した上で計上しております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益又は純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

連結の範囲に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、Suzuki Garphyttan ABの株式を100%取得したことにより、連結子会社が5社増加しております。ただしこれらは決算日が12月31日となっていることと、株式の取得日が6月1日であることから、6月1日から9月30日までの損益計算書科目と9月30日現在の貸借対照表科目を連結しております。

また、7月1日に当社の連結子会社である日東金属株式会社（平成21年7月1日付で株式会社S K Kテクノロジーに商号を変更）が、同じく連結子会社である光陽興産株式会社と東京ダイス工業株式会社を吸収合併したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲を変更しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,662	4,895
預け金	1,852	—
受取手形及び売掛金	9,464	7,949
商品及び製品	2,827	2,575
仕掛品	1,973	1,972
原材料及び貯蔵品	2,581	2,066
為替予約	15	55
繰延税金資産	554	503
その他	625	866
貸倒引当金	△33	△35
流動資産合計	23,524	20,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,410	3,311
機械装置及び運搬具（純額）	7,566	4,548
土地	2,247	2,245
建設仮勘定	209	146
その他（純額）	255	217
有形固定資産合計	13,690	10,470
無形固定資産		
のれん	5,725	—
その他	214	230
無形固定資産合計	5,940	230
投資その他の資産		
投資有価証券	947	858
関係会社株式	90	426
破産更生債権等	203	203
繰延税金資産	1,156	859
その他	288	281
貸倒引当金	△210	△210
投資その他の資産合計	2,475	2,418
固定資産合計	22,106	13,118
資産合計	45,631	33,968

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,276	7,725
短期借入金	12,988	11,242
未払法人税等	119	69
賞与引当金	230	450
その他	2,261	1,252
流動負債合計	24,878	20,739
固定負債		
長期借入金	5,536	2,861
繰延税金負債	712	22
負ののれん	138	179
退職給付引当金	2,100	1,446
役員退職慰労引当金	164	185
長期預り敷金保証金	391	422
その他	60	8
固定負債合計	9,103	5,126
負債合計	33,981	25,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,634	1,900
資本剰余金	2,419	710
利益剰余金	4,577	4,748
自己株式	△143	△143
株主資本合計	10,487	7,216
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17	△100
繰延ヘッジ損益	—	32
為替換算調整勘定	49	△86
評価・換算差額等合計	66	△153
少数株主持分	1,095	1,039
純資産合計	11,649	8,102
負債純資産合計	45,631	33,968

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	30,660	23,816
売上原価	26,877	21,105
売上総利益	3,783	2,711
販売費及び一般管理費	2,860	3,032
営業利益又は営業損失(△)	922	△321
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	56	19
負ののれん償却額	41	41
為替差益	—	377
持分法による投資利益	12	—
その他	126	77
営業外収益合計	237	519
営業外費用		
支払利息	129	215
持分法による投資損失	—	6
その他	64	26
営業外費用合計	193	248
経常利益又は経常損失(△)	966	△50
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	57	—
関係会社株式売却益	—	31
その他	—	8
特別利益合計	58	39
特別損失		
固定資産除却損	70	13
投資有価証券評価損	109	9
固定資産売却損	4	0
貸倒引当金繰入額	203	—
その他	16	13
特別損失合計	403	36
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	621	△47
法人税等	294	93
少数株主利益	137	29
四半期純利益又は四半期純損失(△)	188	△170

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月15日付で、新日本製鐵株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が1,734百万円、資本準備金が1,708百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,634百万円、資本準備金が2,408百万円となっております。